

【彩の国青年マイスター表彰】調書作成のポイント

調書2（様式第2-2）・調書3（様式第3）及び写真資料は、受賞の適否を審査する上で大変重要な資料です。以下の注意事項を踏まえて作成をお願いします。

1 調書2「技能の概要と実績」欄

- 被表彰候補者（以下、当人）が従事している仕事内容ごとに分けて記入してください。

1	〇〇に係る技能
	…
2	□□に係る技能
	…

- 当人が従事している仕事で発揮している技能の高さを具体的に記入してください。
- 職場の業務改善等について複数人で取り組んだ場合は、当人が果たした役割を明確にした上で記入してください。
- 「他の青年技能者にはできないが、当人だからこそできる技法・作業」のPRを意識して記入してください。
(例：通常は…となるところを当人は…にできる、〇mmまで薄く加工できる、など)
- 調書に記述した専門性が高い用語は、別紙（様式任意）の「用語集」を作成し、解説してください。
- 調書本文を補う作業写真や資料を添付してください。その際、写真や資料には必ず説明を付けてください。(例：素材の厚さが均一になるよう手作業で研磨している様子、など)

2 調書2「勤務実績・日常生活等」欄

- 当人が他の青年技能者の模範となっていることについて具体的に記入してください。
(例：後輩へ熱心に指導している、特級技能検定取得に向けて自己研鑽に励んでいる、など)

3 調書2「貢献度」欄

- 当人が業界内外の技能向上等について果たした役割を具体的に記入してください。
(例：当人が考案した作業手順が社内でマニュアル化されている、…により不良品発生率が〇%低下し、生産性が向上した、など)

4 調書3「本人記載」欄

- 成果のみならず、そこに至る過程を具体的に記入してください。
- 「(4) その他、特にPRしたいこと」の項目も記入してください。特にPRすることがない場合でも、今後の自身の目標などテーマを自身で設定し、記入してください。

5 添付資料について

- 単なる作業工程・完成品ではなく、繊細な作業をしている際の手元など、一見して技能の高さがわかる写真を準備してください。
- 調書の解説として、企業のホームページ等をそのまま添付するのではなく、高い技能が要求される箇所や当人が担当した業務を追記するなど、わかりやすい状態で提出してください。